



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	68,633	18.5	3,921	—	5,079	365.3	3,483	—
2021年3月期第2四半期	57,913	△19.9	△222	—	1,091	△76.5	△994	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 4,606百万円 (277.7%) 2021年3月期第2四半期 1,219百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	70.93	—
2021年3月期第2四半期	△20.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	171,004	94,871	50.9	1,772.61
2021年3月期	176,508	92,441	47.8	1,719.40

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 87,076百万円 2021年3月期 84,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—	25.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	6.5	5,800	△0.0	7,700	△8.9	4,900	22.2	99.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	49,757,821株	2021年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	634,237株	2021年3月期	673,995株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	49,103,780株	2021年3月期2Q	49,084,469株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済情勢は、主要国を中心にワクチン接種の普及による防疫措置の緩和や金融・財政支援対策等により経済活動が下支えされた結果、景気回復基調となりました。一方、世界的な半導体不足やコロナ感染再拡大による東南アジア地域からの部品供給の滞りなどにより、その回復ペースは鈍化しました。

このような事業環境のもと、当社事業においては特に自動車・建設機械業界向け事業及び半導体業界向け事業が堅調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は686億33百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は39億21百万円（前年同期は営業損失2億22百万円）、経常利益は50億79百万円（前年同期比365.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億83百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失9億94百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、世界的な半導体等の部品供給不足の影響があるものの、日本国内だけでなく、欧州・米国・アジアにおける自動車産業の生産が回復し、自動車向け製品の販売が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は412億32百万円（前年同期比28.5%増）、営業利益は16億9百万円（前年同期は営業損失20億61百万円）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、主にインドにおける顧客の操業が回復したことにより、当セグメントの売上高は137億20百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は10億38百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、引き続き業界の投資意欲が旺盛であったことにより、当セグメントの売上高は56億54百万円（前年同期比36.7%増）、営業利益は3億38百万円（前年同期は営業損失78百万円）となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、修繕部品の販売が減少したものの、新造船向け販売の採算良化等により、当セグメントの売上高は52億98百万円（前年同期比0.1%減）となりました。営業利益は9億64百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、航空機用エンジンの補修用部品が減少したことに加え、衛星向け輸入品の販売遅れなどがあり、当セグメントの売上高は27億27百万円（前年同期比20.6%減）、営業損失は32百万円（前年同期は営業利益1億80百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第2四半期連結会計期間末の資産は1,710億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億4百万円減少しました。これは主として現金及び預金が53億30百万円減少したことによるものであります。

[負債]

当第2四半期連結会計期間末の負債は761億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ79億34百万円減少しました。これは主として長期借入金が53億51百万円、短期借入金が15億14百万円、買掛金が13億18百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は948億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億29百万円増加しました。これは主として剰余金の配当により12億27百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を34億83百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、主に自動車向け製品において、半導体不足や新型コロナウイルス感染再拡大による東南アジア地域からの部品供給の滞りによる自動車の減産、原材料価格の上昇等により前回予想を下回る見込みとなりました。

このため2021年7月20日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました連結業績予想を下記の通り修正いたします。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 148,500	百万円 8,100	百万円 10,000	百万円 6,500	円 銭 132.43
今回修正予想 (B)	139,000	5,800	7,700	4,900	99.77
増減額 (B-A)	△9,500	△2,300	△2,300	△1,600	-
増減率 (%)	△6.4	△28.4	△23.0	△24.6	-
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	130,513	5,802	8,447	4,010	81.70

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,662	27,331
受取手形、売掛金及び契約資産	28,253	25,364
電子記録債権	3,288	4,412
商品及び製品	7,402	9,496
仕掛品	6,280	6,543
原材料及び貯蔵品	9,279	9,723
その他	6,288	6,127
貸倒引当金	△344	△87
流動資産合計	93,110	88,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,370	22,923
機械装置及び運搬具（純額）	23,277	22,737
その他（純額）	13,867	13,034
有形固定資産合計	60,515	58,695
無形固定資産		
のれん	1,702	1,483
その他	1,795	1,596
無形固定資産合計	3,497	3,079
投資その他の資産		
投資有価証券	12,077	12,798
その他	7,420	7,628
貸倒引当金	△112	△110
投資その他の資産合計	19,384	20,317
固定資産合計	83,397	82,092
資産合計	176,508	171,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,253	6,934
電子記録債務	2,830	2,845
短期借入金	14,754	13,239
未払法人税等	1,431	1,053
賞与引当金	2,547	3,294
その他の引当金	522	409
その他	12,398	12,458
流動負債合計	42,737	40,236
固定負債		
長期借入金	23,447	18,096
引当金	316	318
退職給付に係る負債	16,052	15,982
その他	1,513	1,499
固定負債合計	41,329	35,896
負債合計	84,067	76,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,310	11,296
利益剰余金	68,224	70,480
自己株式	△226	△213
株主資本合計	89,799	92,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	402	475
為替換算調整勘定	△2,690	△2,595
退職給付に係る調整累計額	△3,116	△2,858
その他の包括利益累計額合計	△5,404	△4,978
非支配株主持分	8,046	7,794
純資産合計	92,441	94,871
負債純資産合計	176,508	171,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	57,913	68,633
売上原価	46,247	52,469
売上総利益	11,666	16,164
販売費及び一般管理費	11,888	12,242
営業利益又は営業損失(△)	△222	3,921
営業外収益		
受取利息	130	106
受取配当金	10	10
持分法による投資利益	1,126	701
その他	604	599
営業外収益合計	1,871	1,417
営業外費用		
支払利息	204	194
操業休止費用	258	—
その他	94	64
営業外費用合計	557	259
経常利益	1,091	5,079
特別利益		
固定資産売却益	0	5
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産売却損	2	12
固定資産除却損	14	53
特別損失合計	17	65
税金等調整前四半期純利益	1,075	5,019
法人税等	1,457	852
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△382	4,167
非支配株主に帰属する四半期純利益	612	684
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△994	3,483

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△382	4,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	73
為替換算調整勘定	905	9
退職給付に係る調整額	357	260
持分法適用会社に対する持分相当額	302	95
その他の包括利益合計	1,601	439
四半期包括利益	1,219	4,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	606	3,909
非支配株主に係る四半期包括利益	612	697

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	32,081	12,954	4,137	5,306	3,434	57,913	—	57,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63	67	—	1	—	132	△132	—
計	32,145	13,021	4,137	5,307	3,434	58,046	△132	57,913
セグメント利益又は損失(△)	△2,061	884	△78	844	180	△230	7	△222

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	41,232	13,720	5,654	5,298	2,727	68,633	—	68,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	57	—	0	—	119	△119	—
計	41,293	13,777	5,654	5,299	2,727	68,752	△119	68,633
セグメント利益又は損失(△)	1,609	1,038	338	964	△32	3,917	4	3,921

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。